

八王子市立 高倉 小学校「平成20年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
 「仲間とともに」 協調性・社会性
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性の育成に向けた教育を推進する。

[教育目標]
 元気に遊ぶ
 本気で学ぶ
 正しく生きる

- 1 地域の実態
- ・共働きの多く、学校の活動に対し高い関心を持つ保護者がいる。
 - ・地域の行事が盛んで、連帯感がある。
- 2 地域・保護者の期待や願い
- ・よりよい学校への期待・願いが強い。
 - ・豊かな人間性と学力の向上を期待している。
- 3 期待される児童像
- ・主体的に学び、生き生きとした子ども
 - ・生きる力を身につけた子ども

《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）
 八王子市学力定着度調査の結果から
 国語は、市の平均を下回り、算数は、市の平均を上回った。国語については、市の平均を上回ることができないが、過去の資料と対比させると、少しずつではあるが学力の定着が進んでいる。算数においては習熟度別少人数指導を行っているので、国語よりも算数の方がよかったと思われる。
 指導方法・指導体制を工夫・改善することでさらに学力の定着を図りたい。
 平均到達度：国語 市73.9 高倉68.8
 算数 市71.8 高倉73.1

児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果から

	4年国語	4年算数	5年問題解決能力
都全体	84.8	77.2	59.8
八王子	83.8	76.0	56.9
本校	75.8	76.5	54.1

市と同じような結果を得た。このことから習熟度別少人数指導における問題解決型の授業展開により、少しずつではあるが、論理的に考える力が身に付き始めていることがうかがえる。

どちらの調査の結果からも、国語の学力の定着に課題があることが分かった。“読むこと”“言語事項”の領域の定着率が低かったことから、書いてあることを十分に理解しないまま調査問題に取り組んでいることも考えられる。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》
 習熟度別少人数学習における問題解決型授業の工夫を推進し、個に応じた指導の充実を図る。
 表現力を育てる指導の工夫を推進する。
 基礎的・基本的な学力の定着を図る、指導方法・指導体制の改善。
 文章読解力の育成
 読書指導の充実。(朝の全校一斉読書の継続)

(本年度の学力向上の具体策) (いつまでに、どの程度)

- ・指導の充実を図るため、長期休業日などを5日間短縮する。国語の配当時数を標準時数より5%、算数の配当時数を10%程度増やす。
- ・個に応じた指導の充実のために、算数において習熟度別少人数指導を行う。2クラスを3グループに展開し、基礎補充・基礎習熟・発展拡充の3コースで授業を行う。コース選択は、児童がレディネステストとコースのガイダンスをもとに行い、教師が人数の調整も兼ねて助言を行う。特に、基礎補充コースでは、個に応じて丁寧に指導できるよう、人数が少なくなるようにする。
- ・コース別指導の充実を図るため、コースにあった指導過程を研究し、実践する。
- ・考える力(確かな学力)を育てるために、算数において問題解決型の授業を積極的に取り入れる。
- ・児童が自分の考えを表現しようとするように、様々な考えを出し合い、良さを認め合い創り上げていくような指導過程を国語・算数などの教科の学習で取り組む。
- ・読む力をつけるために、週2回15分、朝読書に取り組む。
- ・漢字や計算が定着するように、毎日の家庭学習において、漢字練習や計算練習などに取り組む。

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》
 「授業改善プラン」に基づく指導方法を校内研究などで評価し、必要に応じて修正する。
 「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を分析し課題を明らかにし次年度の授業改善プランに反映させる。
 本年度の結果だけでなく過去の調査の結果をふまえ、より正確に児童の達成率を分析し、授業の改善に生かす。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	1学期ひらがなの書き方を学習した。しかし、入学前に、ひらがなの書き順を間違えて覚えてしまっている児童の筆順を、正しくさせたい。また、長音、拗音、促音を文章上に正しく使えないので、使えるようにさせたい。	文章を書くときに、筆順や長音、拗音、促音を意識させて書かせたり、見直させたりしながら、正しい表現ができるようにする。	音楽	鍵盤ハーモニカの演奏の仕方を学習した。タンギングや指使いを、まだ習得できない児童がいる。	個別に指導をする。
社会			図工	自分の描きたい事を表現できない児童がいる。	生活経験を通し、イメージを描けるようにさせたい。
算数	1学期は、1けたの加法、減法を学習した。児童によって、計算の時間に幅がある。	繰り返し練習することによって、計算に慣れさせたい。	家庭		
理科			体育	器械運動(鉄棒)や水遊びを怖がる児童がいる。	安心して学習できるよう、不安を取り除くようにする。
生活	動植物に興味を持っていない児童がいる。	自然に触れる機会を多くし、興味を持たせる。	総合的な学習の時間		
その他(道徳・特別活動等)					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	書く、話すなどの力が不十分である。	・作文力の向上のため、日記指導を始め、各教科の学習において、まとめや考えを文章化するなど、書くことを日常化する。また、書いた文章を推敲する習慣をつけさせる。 ・話す力を高めるため、音読に力を入れる。音読教材の精選・音読カードの作成・音読発表会など工夫する。また、朝のスピーチなど全体の前で話す機会を増やす。	音楽	・ほとんどの子が歌・楽器・リズム打に対して、興味や関心をもっている。 ・鍵盤ハーモニカの指使いができていない子がいる。	・さらに力を伸ばすために、歌集など活用し学年全体で歌ったり、人前で発表したりする機会を数多く設定する。 ・簡単な曲から段階的に練習し、個人に応じた支援をする。
社会			図工	創作意欲が高く、楽しく学習しているが、作品を展示し、互いに鑑賞できる場が不十分。	・夏休み作品展を活用する。 ・高学年の作品を鑑賞し、自分の作品作りに生かす。 ・展示室の確保 ・学級単位だけでなく、学年単位でも鑑賞し合う。
算数	・既習の計算が定着できていない。 ・自分の考えを深め、それを発表する力を身につける必要がある。	・計算力定着のため、復習を行ってから授業を行う。 ・单元ごとにレディネステストを行い、指導のポイントとつまづきを明確にし、個に応じた指導を行う。 ・図や絵、文など多様な表し方を身につける。ノートの使い方もしっかり指導する。	家庭		
理科			体育	運動は好きであるが、全体的に体力の個人差が大きい。走・跳・投のバランスも不十分である。	・運動の楽しさを味わわせるため、個々の目標を明確にさせ、達成感を持たせる。 ・ゲーム性のある授業展開を工夫する。 ・1時間の授業の中に多様な運動を取り入れ、運動量を十分確保する。
生活	異学年との交流や学校農園での野菜作りなどに取り組んでいるが、地域との関わりの活動は十分とは言えない。	・学校農園の活動においては、様々な人々の支えがある。それらの人々との交流の機会を設ける。 ・地域調べをさらに進め、地域との交流を広げる。	総合的な学習の時間		

その他（道徳・特別活動等）

- ・身近な生活の中から、子供の活動を掘り起こし、子供が自分の考えを持ち、自分の生活が見つめられるよう工夫する。
- ・縦割り班活動を通して、学年の違う人たちと協力して、取り組めるような活動を生み出す工夫をする。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した新出漢字を文章表現の中で自在に扱うのが不得手とする児童が目立つ ・自分の気持ちを整理して文章に表現するのが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や言葉の学習を繰り返し取り組ませ、日常の中でも生かすことができるよう指導する。 ・文章の書き方のスキルを身につけると同時に、スモールステップで文章表現力を身につけていくことができるよう指導する。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関心が高い児童が多く、歌声は落ち着いていて表現力がある。 ・リコーダーの学習も意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の教材ばかりでなく、様々な曲に取り組み、表現を工夫できる力を育てる。 ・練習プリントを使い、リコーダーの運指、タンギングをマスターする。個別指導にも力を入れる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・知識として身につけたことを実際生活の中で当てはめたり生かしたりすることを不得手とする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、日々の家庭学習の中で繰り返し取り組ませることにより、実際生活の中でも生かすことができるようにさせる。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・極少数であるが自己の作品に愛着を持たない児童が見られる。 ・作品を大切に作る気持ちを育てたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間を活用し、異学年に作った作品で遊んでもらう機会を設ける ・授業の中で友達の作品を鑑賞し、よさに気づく時間を設ける
算数	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲が高く粘り強く学習する児童が多い。技能や知識は習得することができるが、問題をしっかり把握して立式したり、計算の仕方を考えたりするなどの数学的な考え方については全員が身につけているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つの方法を考えて満足するのではなく、友達に分かりやすく説明するために、いくつもの方法を考えるように指導する。また、数と計算領域では5・6年生になって正しく演算決定できるように、3年生のうちから図や言葉の式に表してから立式する習慣をつけるように指導していく。 	家庭	/	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に興味関心をもつ児童が多いが、それらを知識として定着させたり、丁寧にまとめたりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察したことを、整理し見やすくまとめることができるよう、児童の実態に合ったワークシート等の作成をする。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体育が好きな児童が目立つ反面、自分の苦手なことに挑戦しようとしたり、それを克服しようとしたりする意欲を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の良さを認め、持ち味を生かしつつ、遊び的な活動を取り入れながら、課題を克服しようとする意欲を継続して持ち続けられるよう支援する。
生活	/		総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験に対し、関心意欲はあるものの、そこから学んだことや、自ら課題意識をもち、進んで学習しようとすることが十分でない。 ・同クラスや同学年での活動が目立ち、限定的な範囲の中での友だちとのふれ合いが目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験を重視し、体験したことから興味や関心をもち、自ら課題を設定し、解決していけるように指導する。 ・他学年との交流を通して、良さや違いを認め合い、互いに学びあえる環境を提供する。
<p>その他（道徳・特別活動等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を通して、気持ちを切り替えて、集中して物事に取り組める姿勢を養う。 ・縦割り班活動を通して、異年齢集団の中でも、自分の考えを表現することができるよう指導する。 ・石拾い、草取り、落ち葉拾いなど、学校の環境保全に取り組む中で、勤労の大切さを体感する。 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読むのは好きであるが、詳しく内容を読み取るのが苦手である。 ・漢字練習にはよく取り組むが、定着するのに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降意味調べに積極的に取り組む。 ・漢字辞典の使い方を学習したあと、漢字の意味調べに活用する。 ・言語事項の定着をはかるため、復習に取り組む。 ・興味を高めるために、授業で児童の実態にあった工夫をする。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱においては、のびのびと楽しく歌うことができるが時に乱暴な表現になることがある。 ・リコーダーは、ほとんどの児童が目標に達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CDなどを活用し、美しい声、響く声のイメージをつかませ、曲にあった表現ができるようにする。 ・更に美しい曲作りができるように曲の流れを感じながらレガート奏ができるよう指導を工夫する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、興味を持って調べたり、見学したりすることができるが、資料の読み取りが十分でないため、理解が深まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたこと、見学したことを課題にそって分かりやすくまとめられるようにする。 ・教室内の学習に留まらず、時間が許す限り、実体験を重視する取り組みを続ける。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・極少数であるが自己の作品に愛着を持たない児童が見られる。 ・作品を大切に作る気持ちを育てたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間を活用し、異学年に作った作品で遊んでもらう機会を設ける ・授業の中で友達の作品を鑑賞し、よさに気づく時間を設ける
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の理解の程度に差がある。習熟度別少人数指導ではレディネステストの結果から的確に自らのコースを選ぶことができるようになった。自力で解決することはできるが、自分の考えを分かりやすくノートにまとめることが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数では4年生から学力に差が出やすいので、授業の始めや宿題で既習事項の定着を図る。また、ノートをメモとして使うのではなく、振り返ってもよく分かるようにするなどノート指導を徹底する。また、友達とノートを見せ合うなどよりよいノートの取り方・使い方を児童と共に追究していく。 	家庭	/	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲がとても高い。 ・興味を持って実験や観察に取り組むが、学習したことが知識として定着しにくい。 ・学習したことをもとに更に科学的な思考を深める力をつけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の方法を考えたり、分かったことを分かりやすくまとめたりすることで、知識として定着するようにする。 ・事物の変化に関係する要因をとらえ、問題を解決する力が身につくように、児童の考えをもとに観察や実験を行ったり、視聴覚教材を活用したりする。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に外遊びが好きで体を動かすことに対する関心・意欲が高い。 ・ゲームのような集団で活動する内容を好む。 ・基礎的基本的な運動技能には、個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技能が高まるように、基礎的・基本的な運動を意図的、計画的に取り入れる。(全校で取り組む縄跳び・持久走) ・互いに教え合うことを通して、技能の高まりに意欲がもてるようにする。
生活	/		総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や興味・関心から、自分が追求したい課題を見つけることができる。 ・目的に応じて、調べる方法を工夫し、必要な情報を集めることができるが、インターネットに頼ろうとする傾向がある。 ・調べた結果が資料の丸写しになることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの善し悪しについて指導し、正しい情報が活用できるようにする。 ・資料を基にできるだけ自分の言葉でまとめられるようにする。
その他(道徳・特別活動等)					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに自信が持てず発表ができなかったり、発表をしようとしなかったりする児童がいる。 漢字の習得が不十分な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが答えられるような発問を工夫し、児童が進んで発表する機会を多くし意欲を喚起する。 ミニテストや漢字スキルを活用し、継続的に指導していく。また、日記や作文を書く時には既習の漢字を使わせるようにする。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱においては元気に歌っているが、表現力のある歌い方まで意識が行っていない。 苦手意識を持っている児童が多い。(楽器など) 	<ul style="list-style-type: none"> 情緒的な雰囲気曲も取り入れCDなども活用しながら高学年らしい表現ができるようにする。 簡単で美しい曲や、子供の興味のある曲などを取り入れ、苦手意識を払拭する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資料を活用することができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の効果的な読み取り、使い方の観点を、授業の中でアドバイスする。また、教科書に出てくる資料で、簡単な練習問題を作り、資料活用能力を高める。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 極少数であるが自己の作品に愛着を持たない児童が見られる。 作品を大切にしたい気持ちを育てたい 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科や総合的な学習の時間を活用し、異学年に作った作品で遊んでもらう機会を設ける 授業の中で友達の作品を鑑賞し、よさに気づく時間を設ける
算数	<ul style="list-style-type: none"> 直観ではなく直感で考えをすすめてしまう児童もいれば、ゆっくり丁寧に友達の考えを聞きながら自分の考えを深めていく児童もいるなど個人差がかなりある。既習事項が身につけていないので、新しい学習でつまづく児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 新単元に入る前にレディネステストを必ず行い、児童の実態を確実に把握する。その後、前学年の復習を入れ、既習事項を把握してからスモールステップで新しい学習を行っていく。かけ算・わり算が苦手な児童もいるので基本的な計算練習も適宜取り入れていく。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には、製作や実習に意欲的に取り組み、最後まで続けられる。しかし、できないことがあると、そこから逃げようとし努力しない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入での説明をしっかりと聞くことを徹底させる。製作プリントを読んで理解する力をつけさせる。製作目標を立てて、できたらシールを貼るなどして、達成感を持たせ、次への意欲につなげる。実習では、各自の分担を決めて、それぞれが責任を持って活動できるように、事前の計画をしっかりと立てさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験観察には意欲的に取り組んでいるが、その後の知識の定着や理解が深まらない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験観察の目的を強く意識させるとともに、実験観察後の考察、話し合い、まとめの時間を十分にとる。また、ノートの取り方を工夫させたり、ミニテストを活用したりする。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 器械運動の苦手な児童がいる。 児童相互の技術の教え合い、学び合いがあまりできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 器械運動のポイントをおさえたカードを作成し、活用する。また器械運動に限らず、筋力や感覚を高める運動を積極的に取り入れる。 グループ編成を運動の特性に応じて工夫するとともにグループ学習の時間の確保、充実を図る。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見つけられなかったり、追究が深まらない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味関心、既習体験、また教科学習との関連などから、課題設定を丁寧に進め、個に応じた適切なアドバイスをする。また、資料の収集、活用の仕方など解決の見通しをもたせたり、意見交流の場を設けたりするなど指導の工夫を図る。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを考えて、思いやりをもった言動を心がけられるよう、適切な資料を活用しながら、時と場に応じて継続的な指導を行う。(道徳) 石拾い、草取り、落ち葉拾いなど、学校の環境保全についての勤労体験を通し、学校を大切にしたい心を育てていく。(道徳) 学級の出来事や身近な問題を取り上げて、話し合ったり、解決したりする体験をできるだけ多くもたせる。(特別活動) 縦割り班活動や委員会、クラブ活動を通して、高学年としての自覚を深め、望ましい人間関係を築いていく力を育てる。(特別活動) 朝の読書を通して、言語能力や集中力、理解力、思考力を養い、多様な知識やものの見方、考え方を学ばせる。 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 書くことや話すことに対する関心意欲が低いので書くことや話すことの力が弱い。 長い文章を読み取る力が弱い。 言語においても漢字の読み書きは定着していると思われるが活用が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において日記指導や読書指導を継続して行い、文章の読解力の育成に努める。 学習した漢字の活用例や活用方法を調べたり、日常の書く作業で積極的に活用したりする機会を設け、正しい言語活用の育成を図る。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組んでいる児童が多い反面、力を出し切っていない児童もみられる。 歌も楽器も高学年らしい表現ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> チェックカードなどを活用し、めあてを明確にして、意欲を高める工夫をする。 教科書の曲に加え、児童の心情に合った曲を選び、より深い表現が工夫できるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図の記号や地図を読み取る力が弱い。 資料から分かることを表現する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した内容を復習し、基本的な事項の定着を図る。 資料を活用して、調べ学習や表現活動を行う機会を増やし、資料活用能力の育成を図る。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 極少数であるが自己の作品に愛着を持たない児童が見られる。 作品を大切に作る気持ちを育てたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科や総合的な学習の時間を活用し、異学年に作った作品で遊んでもらう機会を設ける。 授業の中で友達の作品を鑑賞し、よさに気づく時間を設ける。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 筋道立てて考え方を説明したり、友達の考えを聞いて自分の考えを深めたりする力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するだけでなく、必ず自分の考えを友達に分かりやすく説明する活動を設ける。また、友達の図から考え方を予想したり、式から考え方を予想したりするなど、自分の考え方だけでなく、いろいろな考え方にふれて自分の考えを豊かにさせる。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には、製作や実習に意欲的に取り組み、最後まで続けられる。しかし、できないことがあると、そこから逃げようとし努力しない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入での説明をしっかりと聞くことを徹底させる。製作プリントを読んで理解する力をつけさせる。製作目標を立てて、できたらシールを貼るなどして、達成感を持たせ、次への意欲につなげる。実習では、各自の分担を決めて、それぞれが責任を持って活動できるように、事前の計画をしっかりと立てさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察を通して学習したことの知識・理解はよく定着している。 関心・意欲がとても高い。 学習したことをもとに更に科学的な思考を深める力をつけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な読み物を紹介したり、自主研究を勧めるなどして、さらに科学的な思考判断力の育成を図る。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に外遊びが好きで体を動かすことに対する関心・意欲が高い。 しかしゲーム的な内容を好み、基礎的な運動は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に陸上運動やマット運動などを通して基礎的な運動の定着を図る。 日常的に持久走を取り入れ、持久力を高める運動を続ける。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 自ら興味をもって課題を見つけることや課題に対して積極的に取り組む姿勢が見られる。 追究活動においては必要な情報をもとにして最後まで調べることができる。 伝え合う活動でも積極的に工夫して表現しようとする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や周りの生活に目を向けさせ、追究したことを活かせる課題を発見する力を育てる。 多くの情報から取捨選択し、必要な情報を取り入れ、活用したり、表現したりして生きる力となる総合的な意欲や能力をそだてる。
その他(道徳・特別活動等)					